

## 第5回水資源に関するシンポジウムの論文の募集について

第5回水資源シンポジウム委員会  
論文小委員会

これまでに、昭和52年10月に第1回、昭和57年8月に第2回、昭和62年8月に第3回、そして平成4年8月に第4回の「水資源に関するシンポジウム」が開催され、関連する学会、行政機関及び団体などが参集し、我が国の水資源に関する分野の研究および行政の進展に多大の成果を収めました。

第4回の水資源に関するシンポジウムを開催して以来、4年が経過しましたが、経済社会が高度化する中で、水資源の量及び質のより一層の安定的確保とともに、同時に自然環境・生態系の保全に果たす水の機能が損われないなど、水循環における種々のバランスと持続可能性も求められています。さらに平成6年の全国的な大渇水や阪神・淡路大震災の発生により、水に関する危機対策の重要性も改めて認識されました。

そこで、水資源の利用、開発および保全に関する様々な問題について、学会、行政機関等が、最新の研究成果、情報を持ち寄り、幅広い検討を行うことによって、今後の水資源問題に対する理解と認識を一層深めることを目的として、第5回「水資源に関するシンポジウム」を開催することになりました。

つきましては、このシンポジウムに多数参加されるとともに、下記要領により発表論文を募集しますので、ふるってご応募ください。

### 記

#### 1. 日 時

平成9年8月4日(月)～5日(火)

#### 2. 場 所

日本学術会議講堂・会議室

〒106 東京都港区六本木7丁目22番34号

#### 3. 主 催

日本学術会議水資源学研究連絡委員会、空気調和・衛生工学会、土木学会、農業土木学会、日本気象学会、日本水環境学会、日本地下水学会、日本林学会、砂防学会、水文・水資源学会、水の週間実行委員会

#### 4. 後 援 (予定)

科学技術庁、環境庁、国土庁、厚生省、農林水産省、林野庁、通商産業省、資源エネルギー庁、気象庁、建設省、水資源開発公団、地域振興整備公団、住宅

都市整備公団、日本下水道事業団

#### 5. 協 賛

未定

#### 6. 論文募集のテーマおよび内容

本シンポジウムの趣旨に沿い、下記のようなテーマ及び内容について、科学的に論じた論文、行政面からの報告等とします。但し、個々の専門領域の詳細技術(たとえば、水文諸量の計測・解析手法、水質分析手法等)を論じたものは除きます。

##### (1) 水資源の安定供給

- a. 水資源の需要(需要の構造分析, 需要管理, 弾力性, 将来の水利用等)
- b. 水資源の供給(水資源開発, 利水安全度, 賦存量等)
- c. 水資源の長期的意義(持続可能性, 環境への影響, 他のエネルギーとの相対比較等)

##### (2) 水循環と流域管理

- a. 水源地域の保全と管理
- b. 地下水の保全と利用
- c. 水質制御と管理
- d. 流域水循環と流域管理(水量と水質を含む)
- e. 水経済・水制度

##### (3) 水資源の活用

- a. 水資源の効率的利用(節水, 再生水利用, 雨水利用, 用水の合理化等)
- b. 水エネルギーの有効利用
- c. 異常渇水時の対策と対応(渇水事例研究を含む)
- d. 異常緊急時(地震, 水質事故等)の水源地対策

##### (4) 水資源と環境形成

- a. 地域・町づくりと水
- b. 河川・湖沼の生態系の保全・改善
- c. 水景観
- d. 水環境教育

##### (5) 地球環境変化と水資源

- a. 水資源開発・保全におけるパラダイムの転換
- b. 水資源の国際比較
- c. 気候変動・変化と水資源
- d. アジアモンsoon地域の水資源

## (6) 水資源分野における新技術の展開

- a. 造水・処理技術等
- b. モニタリング (リモートセンシング, GIS 等の利用を含む)
- c. 情報データベース・ネットワークとその利用

## 7. 応募方法

論文の応募にあたっては、A4版の用紙(縦長横書き)に、①論文題目、②テーマおよび内容の分類((1) a.~c. (2) a.~e. (3) a.~d. (4) a.~d. (5) a.~d. (6) a.~c. の別)、③著者名(連名の場合は発表者に○印)、④所属学会名(複数の所属学会に所属している方は、所属学会名をすべて記入する)、⑤勤務先、⑥代表連絡者の氏名、連絡先(郵便番号、住所および電話番号)、⑦論文内容の概要(400字から800字程度)を記入し、平成9年3月7日までに下記送付先までお申し込みください。

## 送付先

〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地  
 社団法人土木学会内  
 第5回水資源に関するシンポジウム事務局  
 宛  
 TEL 03-3355-3441 (代)

応募された論文については、論文小委員会で査読した後、平成9年4月15日までに採否の通知と原稿作成依頼をいたします。4月15日までに通知がない場合は、上記シンポジウム事務局までお問い合わせください。また、採択された応募論文は、平成9年5月下旬までに12000字程度(図、表等を含む)に論文をまとめて事務局宛提出していただく予定です。詳細は、応募者への採否の通知の際にお知らせします。

当シンポジウムの参加募集については、あらかじめ主催団体の機関誌等でお知らせいたしますので多数参加くださるようお願い申し上げます。なお、論文投稿、発表の方も有料参加となりますので、参加応募の際は、期限までに申し込み手続方お願い申し上げます。



## ロスビー生誕100周年シンポジウム (Rossby-100) 開催のお知らせ

C. G. ロスビー (1898~1957) の生誕100周年を記念して、1998年6月8日~12日ストックホルムでシンポジウムが開催されます。シンポジウムの主テーマは、次の三つです。

1. 地球流体力学
2. 天気と気候の数値モデリング
3. トレース・ガスとエアロゾルの全地球循環

シンポジウムの詳細は、1997年夏の初めに通知される

予定です。このシンポジウムの事務局は下記の所に設置されていますので、参加希望者は連絡してほしいとのことです。

Department of Meteorology  
 Stockholm University  
 S-106 91 Stockholm, Sweden  
 e-mail : sympos@misu. su. se